



最新の下関の自然史に関することや当館が得た標本のこと、新たな標本作成方法や採集道具の作り方などをわかりやすく、簡単に紹介した展示の説明用のチラシです。

発行：
令和元年12月20日

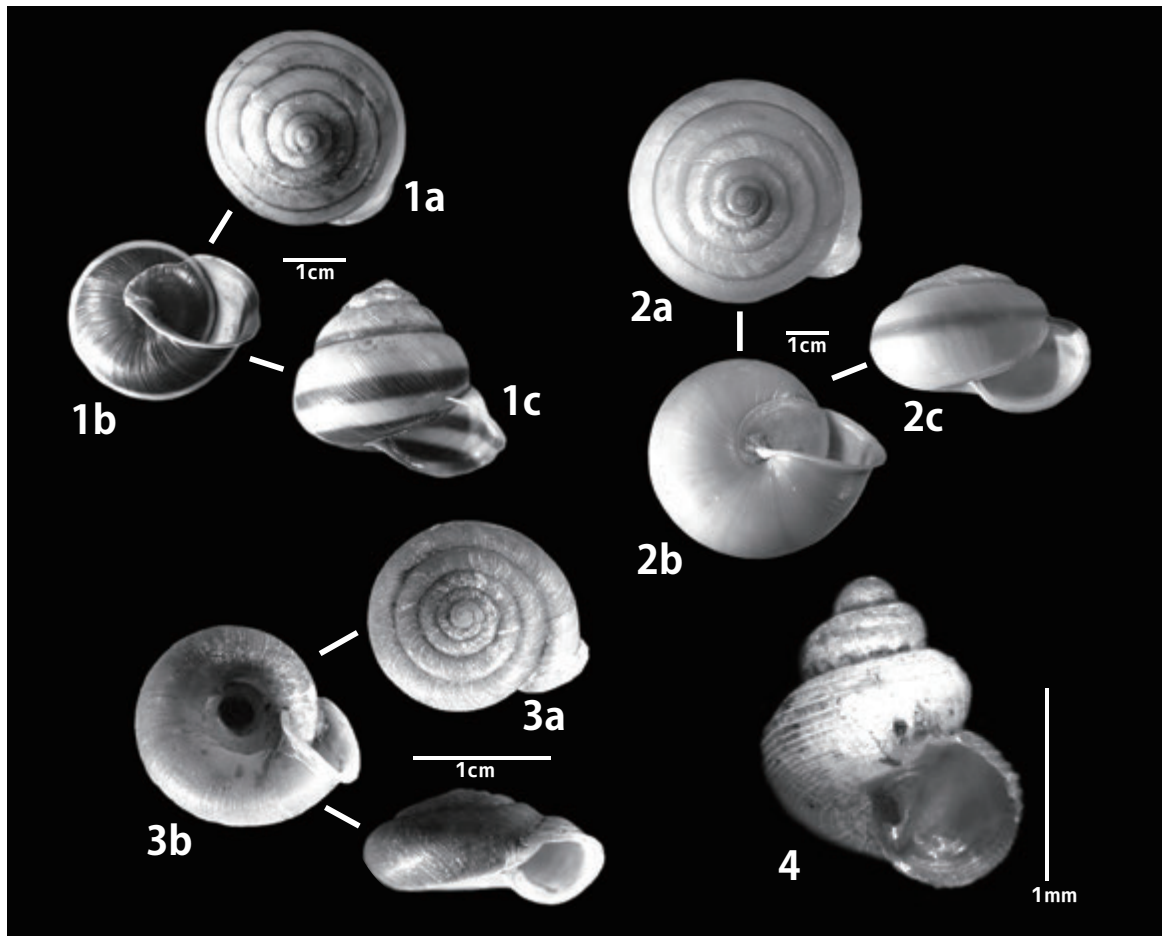
下関市豊田町の陸貝

【下関市豊田町の特徴的な貝類】

- ①サンインマイマイ：殻は高い円錐形。山地の木などに生息し、いろいろな色帯が表れる。サンイン（山陰）と呼ばれるが、瀬戸内側にも分布する。
- ②コベソマイマイ：成体になるとヘソが閉じる。殻の大きさは約30mm。殻表に1本の赤褐色の色帯がある。
- ③タキカワオオベソマイマイ：ヘソが大きく低平な殻。下関市の滝川昇平氏が発見。山地の落ち葉下に生息。
- ④ゴマオカタニシ：殻の大きさは約2mmほどの小型。殻色は薄いだけい色。蓋を持つ。県内では豊田町、美祢市の石灰岩地に生息。



↑詳しくはこちらのPDF
をごらんください



1a-c. サンインマイマイ; 2a-c. コベソマイマイ; 3a-c. タキカワオオベソマイマイ;
4. ゴマオカタニシ